

令和3年度 上下水道局 経営方針

「上下水道事業基本計画 2030 (R3~R12)」及び「上下水道事業中期経営計画 2025 (R3~R7)」に基づき、計画の初年度となる令和3年度は、上下水道施設の長寿命化や改築・更新、災害対策などに取り組むとともに、経営基盤の強化に努め、お客さまに信頼される上下水道を目指します。

また、本市の持つ高い上下水道技術を国内外で活用し、上下水道事業の発展的広域化や国際貢献の推進に取り組みます。

■重点的に取り組むもの

- 上下水道施設の強靱化
 - 環境負荷の低減
 - 国内外への貢献
- ・ 上下水道施設の長寿命化と改築・更新
 - ・ 豪雨対策の拡充・強化
 - ・ 震災対策の拡充・強化
 - ・ 危機管理体制の充実・強化

予算の概況

【上水道事業会計】

〈水道事業〉

- 収益的収支は、5.1 億円の黒字
- 単年度資金収支は、12.5 億円のマイナス
(累積資金剰余 (基金含む) 53.8 億円)
- 企業債残高は、612.9 億円

〈水道用水供給事業〉

- 収益的収支は、0.9 億円の黒字
- 単年度資金収支は、1.0 億円の黒字を確保
(累積資金剰余 300 万円)
- 企業債残高は、35.1 億円

【工業用水道事業会計】

- 収益的収支は、3.1 億円の黒字
- 単年度資金収支は、1.7 億円のマイナス
(累積資金剰余 19.2 億円)
- 企業債残高は、20.8 億円

【下水道事業会計】

- 収益的収支は、4.6 億円の黒字
- 単年度資金収支は、7.1 億円のマイナス
(累積資金剰余 15.5 億円)
- 企業債残高は、1,465.3 億円

令和3年度 上下水道局予算 主要事業

(1) 上下水道施設の強靱化

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進め、市民の生活を守ります。

■上下水道施設の長寿命化と改築・更新 13,055,614千円

上下水道事業を持続していくため、長期的な視点に立って効率的・計画的な上下水道施設の改築更新を進めます。

- ・配水管等の更新 5,848,320千円
配水管更新 (L=38.5km)、導送水管更新 (L= 1.8km)
- ・浄水施設の更新 955,469千円
堀越ポンプ場特高受変電設備更新電気計装工事 など
- ・工業用水道施設の改築更新 756,497千円
森下分岐～引野配水池送水管布設替工事 など
- ・下水道施設の改築更新 4,287,000千円
日明浄化センター中央監視装置改良 など
- ・下水道施設の再編 640,000千円
皇后崎・北湊処理区の再編 など

■豪雨対策の拡充・強化 1,760,000千円

近年、局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、効果的に施設整備を進めていきます。

- ・昭和町雨水貯留管、天籟寺初音町幹線増補管 など

■震災対策の拡充・強化

8,022,646千円

大規模な地震が発生した場合においても、水道の安全で安定した給水、下水道の最低限の水処理機能を維持するため、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化などを図っていきます。

- ・浄水場・配水池の耐震化 305,714千円
皿山配水池の耐震化工事 など
- ・水道管路の耐震化《再掲》 5,848,320千円
配水管等の更新
- ・バックアップ機能の強化 258,612千円
井手浦系配水本管 L=100m など
- ・下水道管渠の耐震化 1,490,000千円
日明遮集幹線管渠更生、東二島北湊主要幹線管渠更生 など
- ・浄化センター、ポンプ場の耐震化 120,000千円
則松ポンプ場耐震化工事 など

■危機管理体制の充実・強化

307,449千円

気候変動の影響による自然災害の増加などさまざまな災害リスクに備え、緊急時においても、安定給水、安定処理ができる体制を確保していくとともに、市民の自助や地域による共助、他都市との連携強化など、ソフト施策を組み合わせた総合的な災害対策を強化していきます。

- ・停電対策 241,779千円
本城管理棟非常用発電設備更新 など
- ・災害時における機能確保の推進 65,670千円
応急給水施設整備工事 など

(2) 環境負荷の低減

水環境の向上や、資源の有効活用などによる環境負荷低減を推進します。

■合流式下水道の改善推進 1,900,000千円

下水道法施行令で定められた期限（令和5年度末）までに放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減し、良好な水環境をつくります。

- ・西本町地内、槻田地内
- ・皇后崎浄化センター水処理設備工事

■省エネルギーの推進 16,000千円

電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、ポンプ設備の適正化などにより省エネルギー対策を実施します。

■水道メーターの再資源化 3,650千円

本城リサイクルプラザを活用し、使用できなくなった水道メーターを分解・選別した上で、再資源化を図ります。

(3) 国内外への貢献

北九州都市圏全体に相乗効果が期待できる発展的広域化や、SDGsの達成に寄与する国際貢献に取り組むことで、本市職員の技術力・実務能力の向上を図ります。

■水道事業の発展的広域化 1,121,819千円

宗像地区事務組合の水道業務包括受託について、引き続き水道施設の運転や維持管理、料金徴収などを実施します。また、連携中枢都市圏「北九州都市圏域」の水道事業者等を対象に、水道広域セミナーを開催するとともに、圏域全体に相乗効果が期待できる発展的な広域化に向けて、検討などを進めます。

- ・宗像地区水道施設維持管理等業務委託
- ・水道広域セミナー など

■海外事業の展開 170,142千円

SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成へ寄与するため、上下水道の国際技術協力に取り組みます。

さらに、協力関係で培った信頼や人的関係を基に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との官民連携により、本市経済の活性化に繋げるための海外水ビジネスを推進していきます。